



熊本県議会議員

高島和男がゆく

令和5年4月号



熊本西高校卒業式に出席



3月1日、県下一斉に県立高校の卒業式が行われました。私は母校である熊本西高校の卒業式に議長代理として出席しました。

感染者数も減少して3年ぶりに来賓を招いて挙行されましたが、コロナ以前は歴代校長、近隣の中学校長等、多くの来賓が列席されていました。今年度は私の他に同窓会、保護者の会長さんの2人のみでした。

今回卒業する3年生は入学早々2ヶ月にわたる一斉休校、運動会や修学旅行も中止になるなどコロナに翻弄された3年間でした。そんな当たり前とは程遠い不自由な中で先生方や仲間たちと楽しみを見出して、結果として充実した高校生活を送ることができたという卒業生総代の答辞に感動のあまり込み上げるものがありました。

私も熊本西高校の卒業生として皆さんの新たなスタートを応援します！と述べたのでした。



川尻町 瑞鷹にて

川尻の春の風物詩として愛飲家が楽しみにしている「川尻の新酒蔵出し市」が3月5日に開催されました。



熊本地震以前の「川尻の酒蔵まつり」はそれこそ毎年7千人を超える皆さんがあい集い、会社の敷地や蔵の中で瑞鷹の新酒を飲みながら、周辺地域の特産品に舌鼓を打って大いに賑わっていたものです。

晴天下、多くの来場者の笑顔を見ながら地震からの復興もほぼ完了し、蔵出しも少しずつもとの賑わいを取り戻していることを実感しました。明るい兆しを確認した嬉しい1日でした！



野田たけし先生 受賞祝賀会

政治、そして人生の師である野田たけし先生が昨春受賞された『旭日大綬章』の祝賀会が3月4日盛大に開催されました。

受賞決定後も第7・8波のコロナ感染が蔓延し、祝賀会の日程を決めるのもままならない状況にありました。当日は立錐の余地もなく、県内の政財界から600人を超える方々がお集まりになりました。

野田先生のご功績は枚挙にいとまがありませんが、その最たるものは



消費税の導入だと思えます。消費税はアップのたびごとに論議が分かれませんが、仮に消費税がなかったとしたら年金、医療、介護、子育て等、この国の必要な分野は忽ち破綻します。加えて地方行政も直ちに立ち行かなくなりそうです。なぜなら消費税は地方交付税の重要な原資の1つだからです。

誰しも嫌われることには、敬遠し手をつけたがらないものです。ましてや政治家で新しい税金の立案に携るなどもつてのほかです。しかし野田先生は自らの立場の損得より将来のこの国の先行きを案じて消費税を立案、成立、導入をされたのでした。

私自身、公を何より優先する先生の姿勢を継承して県政に取り組んで参ります。野田先生の更なるご健勝とご活躍をお祈りします。

和みの会

2月23日「高島和男を応援する女性の会・和みの会」を開催しました。天皇誕生日の祝日、しかもお昼の出にくい時間帯でしたが会長、そして世話人の方々のご尽力で予想を超える多くの皆様にお集まりいただきました。

第一部ではお2人から推薦の言葉を頂戴しました。保育園の園長先生からは、熊本市保育園連盟が主催するイベントに関して、駐車場の確保や運動会の開催場所を関係機関とやり取りしたこと。グラウンドゴルフの会員さんからは、富合町の雁回公園グラウンドの手すり設置、トイレ改修の紹介がありました。私はお礼の言葉と必ず選挙になること、その上でしっかり勝ち抜く決意を表明したのでした。



引き続き第2部は世話人の方々による全国1位に輝いたVゾーンの圧巻のライブ、子どもたちの可愛らしいフラダンス、そしてチーム風のレビューショーをご覧いただきました。女性の皆さんの華やかで力強いステージに来る選挙に向けて背中を押されたように思えたのでした。

